

薬剤の使用に際しては、必ず商品の説明書をよく読んで、記載内容に従ってお使いください。
最新の適用病害虫名・対象作物名については、[メーカーのホームページ](#)をご参照、または、お問い合わせください。
(こちらに掲載している内容は、2025年4月現在の内容です)

GF ベンレート水和剤

有効成分：ベノミル…50.0%
農林水産省登録 第 23180 号

※印は収穫物への残留回避のため、本剤及びベノミルを含む農薬の総使用回数の制限を示します。

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数※	使用方法	べノミルを含む農薬の総使用回数※
樹木類	ごま色斑点病、炭疽病、輪紋葉枯病	2000 倍	200 ～ 700mL/ ㎡	発病初期	-	散布	-
いぬつげ	枝枯病				6 回以内		6 回以内
ばら	うどんこ病、黒星病	2000 ～ 3000 倍	100 ～ 300mL/ ㎡	-			
きく	白さび病	1000 倍					
	褐斑病 黒斑病	2000 ～ 3000 倍					
りんどう	花腐菌核病	3000 倍					
パンジー	根腐病	2000 倍	セルトレイ (60×30cm) 1 冊あたり 500mL	育苗期	2 回以内	灌注	2 回以内
ゼラニウム	黒根病						
チュリップ	球根腐敗病	100 ～ 500 倍	-	植付前又は貯蔵前		15 ～ 30 分間球根浸漬	
		球根重量の 0.1～0.2%				球根粉衣	
		20 倍		植付前		瞬間浸漬	
シクラメン	萎凋病	500 ～	50～100mL/鉢	-	3 回以	灌注	3 回以内

		1000 倍			内				
トルコギキョウ	立枯病（フザリウム菌）	1000 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱またはペーパーポット 1 冊 (30×60cm、使用土壌約 4~5L) あたり 500mL	定植前日	1 回		1 回		
しゃくやく、 ぼたん	根黒斑病	20 倍	-	植付前	2 回以内	10 分間 苗基部浸漬	2 回以内		
		500 倍				16 時間 苗基部浸漬			
野菜類、とうもろこし	フザリウム菌による病害	乾燥種子重量の 0.16%			は種前	1 回	種子処理機による 種子粉衣	1 回	
うり類(漬物用)	炭疽病	1000 倍	150 ～ 300mL/ 株	定植前～ 収穫 45 日前まで	2 回以内	灌注	3 回以内(但し、種子粉衣は 1 回以内、 は種後は 2 回以内)		
ズッキーニ	菌核病	3000 倍	100 ～ 300mL/ ㎡	収穫前日まで	3 回以内	散布	4 回以内(但し、種子粉衣は 1 回以内、 は種後は 3 回以内)		
	つる枯病								
かぼちゃ	白斑病	2000 ～ 3000 倍							4 回以内(但し、種子への 処理は 1 回以内、は種後は 3 回以内)
きゅうり	菌核病、灰色かび病、炭疽病、黒星病、つる枯病								
	つる割病	1000 倍	150 ～ 300mL/ 株	定植前～ 定植 1 ヶ月後	2 回以内	土壌灌注	6 回以内(但し、種子への		
ミニトマト	萎凋病								

	菌核病	2000 倍	100 ～ 300mL/ ㎡	収穫前日 まで	3 回以 内	散布	処理は 1 回以 内、土壌灌注 は 2 回以内、 散布は 3 回以 内)
	葉かび病、灰 色かび病	2000 ～ 3000 倍					
トマト	萎凋病	1000 倍	150 ～ 300mL/ 株	定植前～ 定植 1 ヶ 月後	2 回以 内	土壌灌注	6 回以内(但 し、種子への 処理は 1 回以 内、土壌灌注 は 2 回以内、 散布及び常温 煙霧は合計 5 回以内)
	菌核病	2000 倍	100 ～ 300mL/ ㎡	収穫前日 まで	5 回以 内	散布	
	葉かび病、灰 色かび病	2000 ～ 3000 倍					
なす	黒枯病、灰色 かび病	2000 倍	100 ～ 300mL/ ㎡	収穫前日 まで	3 回以 内	散布	4 回以内(但 し、種子粉衣 は 1 回以内、 は種後は 3 回 以内)
	菌核病、褐紋 病、フザリウ ム立枯病						
	半身萎凋病	500 倍	200 ～ 300mL/ 株	定植後～ 収 穫 14 日前まで		土壌灌注	
		1000 倍	400 ～ 600mL/ 株				
ピーマン	うどんこ病、 斑点病、炭疽 病	2000 ～ 3000 倍	100 ～ 300mL/ ㎡	収穫前日 まで		散布	
甘長とうがら し	炭疽病	2000 倍					
オクラ	葉すす病	3000 倍					
レタス	菌核病、灰色 かび病、すそ 枯病	2000 ～ 3000 倍		収 穫 14 日前まで	4 回以 内		5 回以内(但 し、種子粉衣 は 1 回以内、 は種後は 4 回 以内)

すいか	つる枯病、菌核病、炭疽病			収穫前日まで	5 回以内		6 回以内(但し、種子粉衣は 1 回以内、は種後は 5 回以内)
メロン							
カリフラワ-	菌核病	2000 倍			3 回以内		4 回以内(但し、種子粉衣は 1 回以内、は種後は 3 回以内)
ブロッコリ-		2000 ~ 4000 倍					
	根朽病	2000 倍					
はくさい	白斑病、菌核病	2000 ~ 3000 倍		収穫 7 日前まで	2 回以内		3 回以内(但し、種子粉衣は 1 回以内、は種後は 2 回以内)
	炭疽病						
キャベツ	菌核病、根朽病				6 回以内		7 回以内(但し、種子粉衣は 1 回以内、は種後は 6 回以内)
アスパラガス	茎枯病、株腐病	2000 倍		収穫前日まで	4 回以内		5 回以内(但し、種子粉衣は 1 回以内、は種後は 4 回以内)
ほうれんそう	萎凋病			収穫 21 日前まで	2 回以内		3 回以内(但し、種子粉衣は 1 回以内、は種後は 2 回以内)
パセリ	立枯病	1000 倍	3L/m ²	収穫 45 日前まで	2 回以内	灌注	
みずな	炭疽病、白斑病	4000 倍	100 ~ 300mL/m ²	収穫 14 日前まで	1 回	散布	2 回以内(但し、種子粉衣

チンゲンサイ				収穫 7 日 前まで			は 1 回以内、 散布は 1 回以 内)
非結球あぶら な科葉菜類 (みずな、チン ゲンサイを除 く)				収 穫 21 日前まで			
いちご	炭疽病	500 倍	-	仮植前	1 回	10 ～ 30 分間苗根 部浸漬	9 回以内(但 し、種子粉衣 は 1 回以内、 苗根部浸漬は 1回以内、育苗 期の灌注は 3 回以内、本圃 定植後の灌注 は 1 回以内、 散布は 3 回以 内)
			100mL/株	本圃定植 後(但し 収 穫 30 日 前 ま で)		灌注	
			50～100mL/株	育苗期	3 回以 内		
	萎黄病		-	仮植前	1 回	1～3 時 間苗根部 浸漬	
			100mL/株	本圃定植 後(但し 収 穫 30 日 前 ま で)		灌注	
しょうが	いもち病、褐 色しみ病	1000 倍	100 ～ 300mL/ ㎡	収 穫 21 日前まで	2 回以 内	散布	2 回以内
ばれいしょ	黒あざ病	種いも重 の 0.3～ 0.4%	-	植付前	1 回	種いも粉 衣	1 回
かんしょ	つる割病	500 ～ 1000 倍	20～40mL/株	挿苗時		株元灌注	4 回以内(但し、 植付時までの処 理は 1 回以内、
			-	植付前		20 ～ 30	

						分間苗浸漬	植付後は 3 回以内)
	基腐病					30 分間苗浸漬	
	黒斑病					20 ～ 30 分間苗基部浸漬	
	黒斑病	種いも重の 0.4%				種いも粉衣	
	斑点病	1000 倍	100 ～ 300mL/m ²	収穫 7 日前まで	3 回以内	散布	
さといも (葉柄)	乾腐病	種いも重の 0.5%	-	催芽前	1 回	種いも粉衣	1 回
たまねぎ		50 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱またはペ - パ - ポ ケ ッ ト 1 冊 (30×60 cm、使用土壌約 5L)あたり 500mL～1L	定植前		灌注	8 回以内 (但し、種子粉衣は 1 回以内、育苗培土混和、灌注または苗根部浸漬は合計 1 回以内、散布は 6 回以内)
		100 倍	セル成型育苗トレイ 1 箱またはペ - パ - ポ ッ ト 1 冊 (30×60 cm、使用土壌約 5L)あたり 500mL				
		1g/1kg 培土		は種前		育苗培土混和	
		20 倍	-	移植直前		3 分間苗根部浸漬	
		灰色腐敗病	2000 ～ 3000 倍	100 ～ 300mL/m ²	収穫前日まで	6 回以内	散布

	灰色かび病、 黒かび病	2000 倍					
らっきょう	乾腐病	500 倍		植付直前		30 分間 種球浸漬	1 回
ねぎ	萎凋病	100 ～ 200 倍	-	定植直前	1 回	5 分間苗 根部浸漬	3 回以内(但 し、種子粉衣 は 1 回以内、 苗根部浸漬及 び灌注は合計 1 回以内、散布 は 1 回以内)
		500 倍				30 分間 苗根部浸 漬	
	小菌核腐敗病	100 ～ 200 倍				5 分間苗 根部浸漬	
		500 倍				30 分間 苗根部浸 漬	
		1000 ～ 2000 倍		収穫 30 日前まで		散布	
		500 倍		定植前	1 回	灌注	
わけぎ	萎凋病		-	植付前	1 回	30 分間 種球浸漬	1 回
みょうが(花 穂)	いもち病	2000 倍	100 ～ 300mL/ m ²	収穫 3 日 前まで	3 回以 内	散布、但 し花穂の 発生期に はマルチフ ィルム被覆 により散布 液が直接 花穂に飛	3 回以内

						散しない 状態で使 用する	
みょうが(茎 葉)				みょうが (花穂)の 収穫 3 日 前まで但 し、花 穂 を収穫し ない場合 にあって は開花期 終了まで		散布	
しそ(花穂)	菌核病	2000 倍	100 ～ 300mL/ ㎡	収 穫 21 日前まで	2 回 以 内	散布	3 回 以 内 (但 し、種子粉衣 は 1 回 以 内、 は種後は 2 回 以 内)
ピタヤ	炭腐症		200 ～ 700mL/ ㎡	収 穫 14 日前まで			2 回 以 内
せんきゅう	黒色根腐病	160 倍	-	植付前	1 回	30 分 間 種球浸漬	1 回
みつば	菌核病	種子重量 の 0.5%		は種前		種子粉衣	
		500 倍				24 時 間 種子浸漬	
なたね		1000 ～ 2000 倍	100 ～ 300mL/ ㎡	収穫 3 日 前まで	2 回 以 内	散布	2 回 以 内
ふき	葉枯病	2000 倍		収穫 7 日			

				前まで			
つるむらさき	紫斑病			収穫 14 日前まで			3 回以内(但 し、種子粉衣 は 1 回以内、 は種後は 2 回 以内)
やまのいも	葉渋病、炭疽 病			収穫前日 まで	3 回以 内		4 回以内(但 し、植付前ま での処理は 1 回以内、植付 後は 3 回以 内)
えだまめ	菌核病、紫斑 病			収穫 30 日前まで			6 回以内(但 し、種子粉衣 は 1 回以内、 灌注は 2 回以 内、散布は 3 回以内)
	立枯病	1000 倍	3L/m ²	発芽 14 日後まで	2 回以 内	灌注	
さやいんげん	菌核病、角斑 病	2000 倍	100 ～ 300mL/ m ²	収穫開始 14 日前 まで	3 回以 内	散布	
	立枯病	1000 倍	3L/m ²	発芽 14 日後まで	2 回以 内	灌注	
さやえんどう	菌核病	2000 倍	100 ～ 300mL/ m ²	収穫前日 まで	3 回以 内	散布	
	立枯病	1000 倍	3L/m ²	発芽 14 日後まで	2 回以 内	灌注	
豆類(未成熟、 ただし、えだ まめ、さやい んげん、さや えんどうを除 く)	菌核病	2000 倍	100 ～ 300mL/ m ²	収穫 30 日前まで	3 回以 内	散布	
	立枯病	1000 倍	3L/m ²	発芽 14 日後まで	2 回以 内	灌注	
いんげんまめ	菌核病	1000 ～	100 ～ 300mL/	収穫 7 日	4 回以	散布	5 回以内(但

		2000 倍	m ²	前まで	内		し、種子粉衣は 1 回以内、は種後は 4 回以内)
	角斑病	1000 ～ 1500 倍					
えんどうまめ	菌核病、褐紋病	1000 ～		収 穫 14 日前まで			
だいず	菌核病、紫斑病	2000 倍		収穫前日 まで			
	黒根腐病	乾燥種子 重 量 の 0.5%	-	は種前	1 回	種子粉衣	
らっかせい	そうか病、茎腐病	2000 倍	100 ～ 300mL/ m ²	収 穫 7 日 前まで	4 回以 内	散布	
	褐斑病、黒渋病	2000 ～ 3000 倍					
豆類(種実、ただし、だいず、いんげんまめ、らっかせい、えんどうまめを除く)	菌核病	1000 ～ 2000 倍		収 穫 14 日前まで			
うど		500 倍	-	定植前	1 回	30 分間 種株浸漬	1 回
たらのき	芽枯症	1000 倍		収 穫 28 日前まで		駒木瞬間 浸漬	
セネガ	黒根病		3L/m ²	収 穫 30 日前まで	3 回以 内	灌注	3 回以内
かのこそう	半身萎凋病	160 倍	-	植付前	1 回	30 分間 苗浸漬	1 回
せんぶり	さび病	2000 倍	100 ～ 300mL/ m ²	収穫前日 まで	12 回以 内 (但 し、1 年 間に 6	散布	12 回以内 (但 し、1 年間に 6 回以内)

					回 以 内)		
とりかぶと (薬用)	白絹病	種いも重 量 の 0.4%	-	植付前	1 回	種いも粉 衣	1 回
しゃくやく (薬用)	灰色かび病	1000 倍	100 ～ 300mL/ m ²	収 穫 14 日前まで	10 回以 内 (但 し、1 年 間に 2 回 以 内)	散布	11 回以内(但 し、植付前ま での処理は1 回以内、植付 後は 10 回以 内(但し、1 年 間に 2 回以 内))
	根黒斑病	20 倍	-	植付前	1 回	10 分間 苗基部浸 漬	
		500 倍				16 時間 苗基部浸 漬	
うめ、あんず	黒星病、すす 斑病	3000 倍	200 ～ 700mL/ m ²	収 穫 7 日 前まで	1 回	散布	1 回
びわ	灰斑病	2000 ～ 3000 倍		収 穫 14 日前まで	3 回以 内		3 回以内
	ごま色斑点病	2000 倍					
くり	実炭疽病	2000 ～ 3000 倍	200 ～ 700mL/ m ²	裂 果 前 (但し、収 穫 14 日 前まで)	4 回以 内	散布	4 回以内
なし	胴枯病、黒星 病、うどんこ 病、輪紋病、心 腐れ症(胴枯 病菌)			収 穫 前 日 まで	4 回以 内		6 回以内(但 し、塗布は 2 回以内、散布 は 4 回以内)
	枝枯病、胴枯 病	20 倍	-	3 月～6 月	2 回以 内	マシン油乳 剤で希釈	

						し塗布	
かき	落葉病、うどんこ病、炭疽病、すす点病	2000 ～ 3000 倍	200 ～ 700mL/ ㎡	収穫前日まで	6 回以内	散布	6 回以内
	疑似炭疽病	2000 倍					
もも	灰星病、黒星病、ホモフシス腐敗病、うどんこ病	2000 ～ 3000 倍		収穫前日まで	3 回以内		3 回以内
おうとう	灰星病、褐色せん孔病	3000 倍		収穫 3 日前まで	2 回以内		2 回以内
ネクタリン	灰星病、黒星病、ホモフシス腐敗病	2000 ～ 3000 倍	3 回以内		3 回以内		
いちじく	株枯病	1000 倍	1～10L/樹	収穫 30 日前まで	5 回以内	株元灌注	5 回以内
キウイフルーツ	果実軟腐病、すす斑病	2000 倍	200 ～ 700mL/ ㎡	収穫 7 日前まで		1 回	散布
ブルーベリー	斑点病、バルデンシア葉枯病	3000 倍					
ぶどう	褐斑病、うどんこ病、灰色かび病、晩腐病	2000 ～ 3000 倍		収穫 45 日前まで	3 回以内	4 回以内(但し、休眠期処理は 1 回以内、散布は 3 回以内)	
	黒とう病	2000 倍		休眠期	1 回		
	つる割病、晩腐病	200 ～ 500 倍					
	枝膨病	200 倍					

	芽枯病	2000 倍		収 穫 45 日前まで	3 回 以 内			
みかん	そうか病、 灰色かび病	2000 ～ 3000 倍		収 穫 前 日 ま で	4 回 以 内		4 回以内	
	貯 蔵 病 害 (白 かび病)	4000 倍						
	貯 蔵 病 害 (青 かび病、緑か び病、軸腐病、 炭疽病、黒斑 病)	4000 ～ 6000 倍						
かんきつ(み かんを除く)	貯 蔵 病 害 (白 かび病)	4000 倍			2 回 以 内		2 回以内	
	貯 蔵 病 害 (青 かび病、緑か び病、軸腐病、 炭疽病、黒斑 病)	4000 ～ 6000 倍						
りんご	黒星病、黒点 病、褐斑病、う どんこ病、腐 らん病、すす 点病、すす斑 病、輪紋病	2000 ～ 3000 倍			4 回 以 内		4 回以内	
	モニリア病	2000 倍						
りんご(苗木)	白紋羽病	1000 倍			-		植付直前	-
茶	炭疽病、白星 病、輪斑病、褐 色円星病	2000 ～ 3000 倍	200 ～ 400mL/ ㎡		摘 採 14 日前まで	1 回	散布	1 回
	白紋羽病	1000 ～ 2000 倍	-	-	苗木根部 24 時 間			

						浸漬	
西洋芝(ペントグラス)	葉腐病(ブラウンパッチ)	2000 ～ 3000 倍	2L/m ²	発病初期	6 回以内	散布	6 回以内
こんにゃく	乾腐病	50 ～ 100 倍	-	植付前	1 回	種いもの芽基部に散布	1 回
麦類（小麦を除く）	雪腐病	2000 ～ 3000 倍	60～150mL/m ²	根雪前		散布	
小麦							
桑	胴枯病	1000 倍	100 ～ 300mL/m ²	摘採 9 日前まで			2 回以内
	輪斑病	2000 倍					

- 2018 年 8 月 8 日付：カリフラワ-、トルコギキョウ、やまのいもの追加。ピ-マン、いちご、たまねぎの変更。
- 2019 年 6 月 12 日付：トマト、やまのいもの変更。オクラの追加。
- 2019 年 7 月 10 日付：はくさい、さやいんげんの変更。
- 2020 年 1 月 15 日付：かんしょの変更。
- 2021 年 7 月 21 日付：かんしょ、なす、みかん、かんきつ（みかんを除く）、しゃくやく（薬用）の変更。かぼちゃ、ズッキ-ニの追加。
- 2022 年 5 月 25 日付：かんしょの変更。
- 2023 年 1 月 25 日付：せんぶり、とりかぶと（薬用）、小麦の追加。ブロッコリ-、ズッキ-ニ、うど、しゃくやく（薬用）、麦類（小麦を除く）の変更。
- 2024 年 3 月 14 日付：かんしょの変更。しょうがの追加。
- 2024 年 10 月 2 日付：きゅうり、トマト、ミニトマトの変更。

●効果・薬害等の注意

- ①きゅうり、トマトに対して灌注処理する場合は、誤って高濃度で処理すると、退色や生育抑制等の薬害を生じることがありますので、所定濃度を守ってください。
- ②たまねぎ、いちごに対して苗根部浸漬処理する場合は、誤って高濃度で処理すると、いちごでは活着不良、たまねぎでは、初期生育遅延等の薬害のおそれがありますので使用方法を厳守してください。
- ③なすの半身萎凋病に対して灌注処理する場合は、定植前及び定植時処理では葉の黄化、生育抑制等の薬害を生じることがありますので定植後に処理してください。
- ④いちごの萎黄病防除に使用する場合は、特に多発地では植付前の土壌くん蒸と本剤処理とを組み合わせるとより有効です。
- ⑤なしの枝枯病、胴枯病に使用する場合は、マシン油乳剤で希釈し、病斑部及びその周辺に1～2回塗布してください。なお、病斑部を削り取った後に塗布する場合は木質部が見えない程度に表皮を薄く削ってください。
- ⑥りんごのモニリア病に使用する場合は、多発条件下では効果が劣ることがありますので、発病初期に時期を失しないように散布してください。
- ⑦本剤及び同系統の薬剤の連続使用によって薬剤耐性菌が出現し、効果の劣った例がありますので過度の連用をさけ、なるべく作用性の異なる薬剤を組み合わせ使用してください。
- ⑧本剤はエトフェンプロックス乳剤またはダイアジノン乳剤と混用した場合、凝固物を生成するため混用をさけてください。
- ⑨こんにゃくの乾腐病防除に使用する場合は、種芋の芽基部を上に向けて並べ、散布液が芽基部に充分かかるように1㎡当り100ml散布してください。
- ⑩麦類の雪腐病防除に使用する場合は、散布は根雪近くに行ってください。
- ⑪水耕栽培でトルコギキョウを栽培する場合には、廃液は環境中に流出しないように適切に処理してください。
- ⑫桑の胴枯病に使用する場合は散布適期は9月上・中旬です。
- ⑬かんしょの基腐病に使用する場合は、苗全体に薬液が浸かるように処理してください。
- ⑭適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましいです。

●安全使用上の注意

- ①体調のすぐれない時は薬剤散布を行わないでください。
- ②使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ③本剤は眼に対して弱い刺激性がありますので眼に入らないように注意してください。眼に入

った場合には直ちに水洗してください。

④本剤は皮ふに対して弱い刺激性がありますので皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。

⑤かぶれやすい体質の人は取扱に十分注意してください。

⑥使用の際は農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換してください。

⑦作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。

⑧本剤で処理した種子等は食料や動物飼料として用いないでください。

⑨街路、公園等で使用する場合は、使用中及び使用後（少なくとも使用当日）に小児や使用に関係のない者が使用区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

●魚など環境に対する注意

①水産動植物（甲殻類）に影響を及ぼすおそれがありますので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。

②使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

薬剤の使用に関する注意事項

適正かつ安全に使用していただくため基本的な注意事項をご案内します。

[薬剤の使用に関する注意事項](#)